

SOLSTICE SILENT MINUTE ~2019冬至のサイレント・ミニッツ

世界中の市民のチカラをつなげ、新時代の光をむかえる時の鐘をならそう！

善意あるすべての市民のみまさま

2019年12月21日の冬至（9.00pmGMT：日本時間22日午前6時）に鐘を鳴らして、1分間の沈黙をおこないます。

地球全体の思いを集めた光のフォースをつなげて、より良い世界を創造する共働のチカラを鼓舞します。

善意ある男女がスピリチャルにつながることで統一された力に優るものは、この地上にはありません。

サイレント・ミニッツの継続的、かつ広範囲にわたる遵守は、人類の福祉の利益にとっても重要です。

(ウェルズリー・チューダー・ポールOBE サイレントミニッツ1940年の先導者)

サイレント・ミニッツとは…今日の世界的な危機の克服のために、思考、祈り、瞑想を通じて、私たちが統合する瞬間を**サイレント・ミニッツ**と言います。その目的は、危機を超えて未来の新たなシード（種子）に焦点をあて熟考して、視覚化することです。数多くの奉仕者とその集団は、今でもシード（種子）を積極的に育成しています。私たちの統一された努力によって、全ての自然王国が共有するワンライフ（一つの生命）が根本的には統合していることを、このシード（種子）は明らかにするでしょう。

グリニッジ標準時の午後9時のサイレント・ミニッツ。世界中の市民が鐘を響かせ合うことで、必ず登頂したくなるほどの高い山、その達成の実現への努力に、人類の意識をつなげましょう。

Indeed, in the Himalayas, there is a pinnacle, Mount Kailas, which is called the Mountain of the Bell.

ヒマラヤ山脈の最高峰であるカイルア山は「鐘の山」と呼ばれています。



The global ringing of the bells expresses Humanity's yearning, intent and declaration to fulfil its greatest destiny.

世界中で鐘が鳴り響くことで、偉大な運命を成す人類の熱意、意図、そして宣言が明らかになります。

サイレント・ミニッツの歴史

サイレント・ミニッツは、第一次世界大戦のエルサレムでの戦いの前夜、ある2人の兵士の会話から生まれました。彼は戦争から生還できないと悟っており、すべての陸、海、空で起きる更なる大きな紛争を予言しました。そして彼は、数百万人の兵士たちのためにも、「あちらがわ」から支援する機会を自分に与えるよう、同僚にお願いしました。「毎日あなたの時間をください。あなたの沈黙は私たちに機会を与えます。あなたが思うより、沈黙の力は大きいのです」そして1940年のロンドン大空襲、**サイレント・ミニッツ**が、ウェルズリー・チューダー・ポール氏によって制定されました。彼の沈黙は「目にはみえないが強力な軍隊」を、微細な層に創り出したのです。

サイレント・ミニッツは、自由と平和のための沈黙の祈りですから、哲学や宗教に関係なく、意志の統一のために、陸、海、空すべての英国連邦の領土、すべての市民に呼びかけられました。夜になると、BBCラジオでは毎時1分前、そしてビッグベンの鐘は午後9時に、沈黙の始まりを告げました。多くの人々がこの献身的な意思表示に参加すれば、いずれ潮流が変わり、イギリスへの侵略が迂回されることを彼は見抜いていたのです。この平和をもたらした試みが成功したことは、あるドイツの高位の士官の言葉によって認められました。

太刀打ちできない秘密兵器があり、私たちはそれを理解できなかった。
とてもパワフルで、毎晩のビッグベンの鐘と関係があることだけはわかった。
人々はそれをサイレント・ミニッツと呼んでいた。

鐘をならして、沈黙にはいる

2019年12月21日9.00pmグリニッジ標準時間（日本時間22日午前6時）

この時間に鐘をならして、光のフォースにつながり、
すべての人々にとってよりよい世界を創造するために
グローバルでパワフルな協働となる
一分間の沈黙をはじめましょう。